

## 反対

# 堺屋太一氏に区長は学べ。巧遅は拙速に如かずという事を。

みんなの党目黒区議団 松田 哲也 議員

区有施設の早急な統廃合と外郭団体の廃止によって捻出した財源を、防災対策と世代構成比率の改善に予算を付け変え、重点化するよう求めてきた。

300以上の区有施設・建物の更新費用には、今までより年間約30億円のコストがかかる。しかし、芸術文化振興等の3団体の統合には4年間もかける。検討に1年、計画に1年、説明に1年、準備に1年。区民に180億円もの負担を、昨年度から強いておきながらこれでは遅すぎる。また廃止

されるはずの住宅・街づくりセンターは、年にたった4回の講演会等のために、実態は看板が変わるだけで多額の補助金が投入され続ける。

また多くの区では2年前の大震災を教訓とし、既に今年度から6倍もの予算をつけているが、目黒区は2倍にも満たない。3世代近居助成制度など現役世代に厚く予算をつけ、税収増も図るよう求めたが、少子高齢化に対する問題意識も低いままだった。よって本予算には反対する。